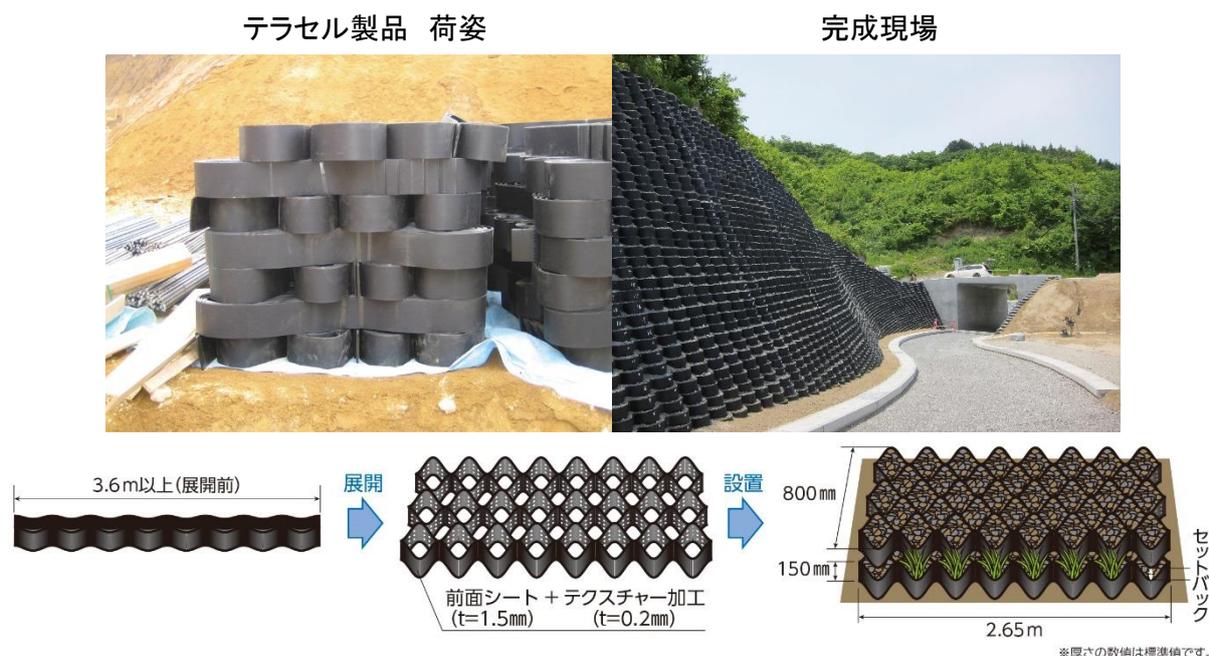


■商品名:テラセル®擁壁工法(NETIS登録番号:KT-090023-VE 2020年3月末に期間満了のため掲載期間終了)・グランドセル®法面保護工法

■概要:

テラセル擁壁工法とは、高密度ポリエチレン樹脂(HDPE)製のハニカム状土壤安定枠のテラセル(ジオセル)を展開してセル内に土や碎石を充填し、段積みすることで擁壁体を構築し、切土のり面を保護する柔構造の工法です。



■特徴

- ・1枚当たり約4kgと軽量で持ち運びが簡単のため、狭小部などでも**運搬が容易**です。
- ・施工には特殊な作業が必要ないため、誰でも**簡単に施工が可能**です。
- ・コンクリート不使用で養生が不要となり、**工期を短縮**できます。
- ・現地の状況に合わせた勾配・曲線が容易なため、**現地に合わせた適応性が可能**です。
- ・高密度ポリエチレン製のため、耐薬品性・耐候性に対しても**優れた耐久性を発揮**します。

■用途:

- ・壁面勾配 1:0.1~1.0 で壁高 8m までの高さに対応可能です。
- ・現地の状況に合せた曲線部の施工や勾配の変化も容易に対応できます。
- ・**災害復旧工事**(法面崩落・路肩欠損・構造物周り及び盛土の崩落)
- ・**コンクリートブロック積擁壁の代替工法** ・道路改良 ・橋台・ボックスカルバート周辺埋戻し
- ・砂防 ・水辺 ・**路盤安定・構造物基礎**

## ■路肩欠損対策工 事例



施主：島根県松江県土木事務所  
 工事名：国道 432 号外 25 線道路維持管理  
 ■ 壁面勾配：1 : 0.6  
 ■ 壁 高：2.85m  
 ■ 壁 面 積：47㎡

## ■災害復旧工事 事例



施主：東日本道路株式会社関東支社高崎管理事務所  
 工事名：上信越自動車道高崎管内災害復旧工事

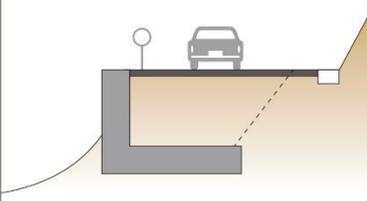
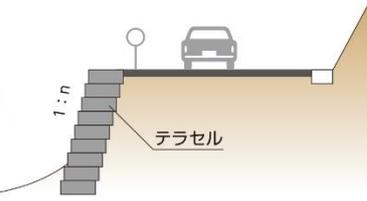
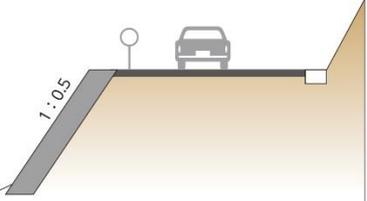
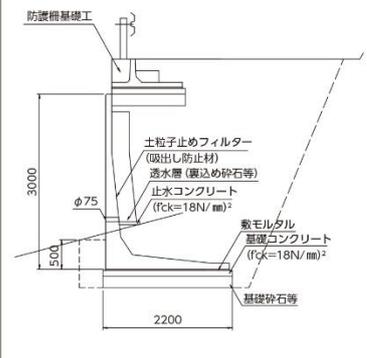
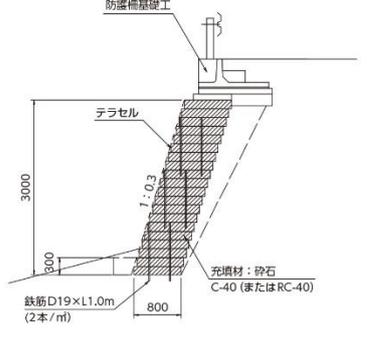
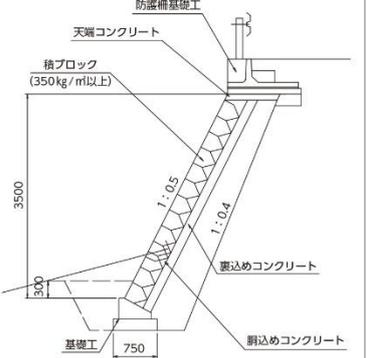
■ のり面勾配：1 : 0.8 ■ 型式：T-100LP ■ のり面積：426㎡



施主：東日本旅客鉄道株式会社  
 工事名：JR水郡線法面復旧工事  
 ■ のり面勾配：1 : 1.5 ■ 型式：T-200LP ■ のり面積：1,130㎡

## ■比較資料

### ■路肩欠損対策工比較

工法	路肩欠損対策工		
	プレキャストL型擁壁工	テラセル擁壁工	ブロック積擁壁工
概略図			
工法原理	<p>たて壁と底版とからなり、土圧に対して、躯体自重と裏込め土砂重量で抵抗し、転倒・滑動に対し安定を図る構造である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・控え幅が大きく、路面工を傷める恐れがある。</li> <li>・掘削量も多い。</li> </ul>	<p>高密度ポリエチレン製の帯状シート材料をハニカム(蜂の巣)状の立体構造にしたテラセル本体を広げて、セルの中に土や碎石を入れて締固め、セル内の充填材を拘束して強度を確保することにより連続した構造体を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・控え幅が小さく、掘削を最小限に抑えられる。</li> <li>・根入れも浅く、勾配も自由に調整できるので壁高も最小限に抑えられる。</li> </ul>	<p>1:0.5法勾配をもたせ、直壁に応じた控え長をとり裏込め材と一体化させて土圧に抵抗させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勾配が緩いため、壁高が高くなる。</li> </ul>
NETIS	—	KT-090023-VE (2020年3月掲載満了)	—
断面図			
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直壁により、構造高としては最小高にできる。</li> <li>・躯体が大きいため、保管スペースは広めに必要となる。</li> <li>・コンクリートを使用するため養生に多少日数がかかるが躯体設置となれば施工スピードが早いので工期短縮可能。</li> <li>・他工法と比し、底版幅が広く掘削領域が大きくなってしまふ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートを使用しないため、工期短縮が計れる。</li> <li>・テラセルは約4kg/枚と軽量なため容易に運搬でき、コンパクトな製品納入で、広い保管スペースは必要としない。</li> <li>・トラッククレーンなどの建設機械を使用しないため、作業ヤードも最小限にでき、施工規模も最小限にできる。</li> <li>・製品の性質よりカーブ施工も容易にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック積みは積むのが難しく熟練工を要する。</li> <li>・コンクリートブロックの保管スペースは広めに必要となる。</li> <li>・コンクリートを使用するため養生に多少日数がかかる。</li> <li>・施工実績は多い。</li> </ul>

※ふとんカゴ対策工は、設置段数の制限等により、構造上適合しない要素が大きいため、上記比較表からは除外する。